・化学ぞうきんを長い間接触させたままにしておくと、変色したり、表面がはげたりする事がありますのでご注意してください。

②金属部

・毎日のお手入れは、柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。

・汚れがひどい時は、中性洗剤を３～５％位にぬるま湯で薄め、柔らからかい布をひたし、よく絞って拭き取ってください。そのあと水で浸した布で洗剤液をよく拭き取り、柔らかい乾いた布で軽く拭いたあと、自然乾燥させてください。最後に潤滑油を薄く塗り、柔らかい布で拭き取ってください。

お問い合わせ先

株式会社 良品計画

〒170-8424　東京都豊島区東池袋４－２６－３

0120-14-6404

■平日　　10：00～21：00

■土・日・祝　10：00～18：00

取扱説明書

収納家具類

この度は、無印良品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
この商品を末永く、安全にご使用頂きために、この「取扱説明書」をよく読み正しくご使用ください。
また、これらを保管し必要な時にお読みください。

目　次

1.　収納家具の置き
2.　使用上の注意
3.　保守・点検
4.　手入れ方法

株式会社 良品計画

Ⓔ　EXPLANATORY NOTE / CHEST & WARDROBE

1 収納家具の置き方

①地震などで家具が倒れ、ケガをする事があるので、建物の壁・床・天井等に固定用金具や固定部材でしっかりと固定してください。
又、家具の上に物を置くと落ちてケガをしたり床面のキズや破損の原因となる事があるので、置き方にご注意ください。
②高温多湿の部屋には、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。家具の裏側も空気がながれる様、壁から少し離し、ときどき部屋の換気に心がけてください。
③直射日光や熱・冷暖房機の強風などが直接あたらない様にしてください。
家具が変形、変色又火災の原因となる事があります。
④家具は、水平に保つように置いてください。不安定なまま使っていると、扉の開閉や引出しの出し入れがスムーズでなかったり、家具がこわれたり、ケガをする原因となる事があります。
⑤床面がフローリングや畳などの場合は、敷物などを敷いて使用してください。
床面のキズ防止になります。
⑥床面がクッションフロアーの場合は、敷物などを敷いて使用してください。
木部の塗装と床面との反応による汚れ防止になります。

2 使用上の注意

①家具の上に立ったり、とんだり、踏み台代わりに使ったり、腰掛けたりしないでください。安定をくずし、倒れてケガや破損をする事があります。
②引出しや引手の上に乗ったり、扉などにぶら下がったり、無理な力で引っ張ったりしないでください。
家具が倒れてケガや破損する事があります。
又、扉や引出しを同時にいくつも開けたり、引き出したりしないでください。
重心が前に移り転倒し、ケガや破損する事があります。
③引出しが付いている場合、これをいっぱいに引き出すと、抜け落ちてケガや破損する場合があります。
④木材の接着剤等（ホルムアルデヒド）が残っている家具で、肌の弱い人はアレルギー症状をおこす事がありますので、換気を十分にして（ホルムアルデヒドを）取り除く様にしてください。
特に乳幼児の衣類などを収納される場合は、ポリ袋やビニール袋等にいれたままの状態で収納してください。
⑤取りはずしのできる棚は、棚受具を確実に取りつけてください。中途半端な取り付けでは棚板がはずれて物が落ち、破損やケガをする事があります。
⑥家具を移動する時は、落としたり、倒したりして、物を壊したりケガをする事がない様に、大人二人以上で手でしっかりと持って運んでください。床面のキズや破損の原因となる事があります。
⑦可動部のある家具は、その操作で手を挟んだりしない様に充分注意してください。ケガをする事があります。
⑧つき板ムク板仕様の天板等に直接熱いものやぬれたものを置いたり、ビニール等で長時間おおって使用しないでください。ヒビが入ったり又塗装が変色したり、つき板がはがれている事があります。
⑨天板、棚等の上に灰皿や食器等、底のザラついた物を直接置いて引きずったりすると傷がつく事がありますのでご注意ください。
⑩扉の開閉時には、扉の動く範囲に人がいないか、物が置かれていないか確認してください。
⑪電気製品等を収納する場合は、充分に隙間をあけて通気性をよくしてご使用ください。電気製品の故障や火災の原因となります。
⑫食器戸棚その他ガラスを使用している家具は乱暴な取り扱いはしないでください。ガラスが割れ、ケガをする事があります。
⑬食器戸棚やレンジ台等についているフラップ扉の上に乗ったり、腰掛けたりしないでください。転倒してケガや破損をする事があります。

3 保守・点検

①ネジ、蝶番や金具類は、ゆるみやグラツキがないか時々点検し、ゆるみはじめたら、しっかり締めなおしてください。
ケガや破損、床面の傷の防止になります。
②虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。
放置すると虫害が拡大する恐れがあります。
③修理及び改造はしないでください。製品の強度をよわめケガをする事があります。

4 手入れ方法

①木部
・毎日のお手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
・汚れのひどい時は、薄めた中性洗剤液を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤液をよく拭きとってください。次に乾いた布で軽く拭いた後、自然乾燥させてください。